

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター / 早稲田大学総合研究機構ロシア研究所

フリツェンコ教授の ウクライナ方言学に関する連続講演会

Дві лекції професора Павла Гриценка про українську діалектологію

12/14 MON. 16:30 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス

[北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター][早稲田大学総合研究機構ロシア研究所] 共催講演会

▼講演題目

Актуальные проблемы украинской диалектологии в общеславянском контексте

全スラヴの文脈におけるウクライナ方言学の重要諸問題

会場 早稲田大学 早稲田キャンパス 8号館 B105

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-6-1

12/16 WED. 16:30 ~ 18:00

北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 特別講演会

▼講演題目

Язык и культура после Чернобыля: проблемы сохранения и исследования

チェルノブイリ事故後のことばと文化：その保全と研究の諸問題

会場 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 4階 大会議室 (403)

〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目



講演者

Павло Юхимович Гриценко

パヴロ・フリツェンコ教授

(ウクライナ学士院ウクライナ語研究所・所長)

入場無料 / 事前予約不要

使用言語：ロシア語

※いずれの講演会も

通訳はありません

▼主催

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター (SRC)

日本学術振興会 (基盤研究(A))

「被災者参画による原子力災害研究と市民復興モデルの構築：
チェルノブイリから福島へ」

▼共催

早稲田大学総合研究機構ロシア研究所

▼お問合せ

野町 素己 (北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)

MAIL: mnomachi@slav.hokudai.ac.jp

TEL: 011-706-3158

科研費 KAKENHI SRC

